

令和 7 年 2 月大井町教育委員会定例会 会議録

日 時 令和 7 年 2 月 17 日（月） 9 時 30 分～11 時 00 分
場 所 大井町役場 3 階 301 会議室
出席委員 夏苺一壽教育長、中條政夫教育長職務代理者、小嶋真希委員、太田吉昭委員、
高橋美恵子委員
出席職員 矢吹高広教育総務課長、有馬清美生涯学習課長、山本順一指導主事、
荻野義信社会教育主事
【書記】草柳孝子教育総務課副課長
欠席委員 なし
欠席職員 なし
傍 聴 人 なし
会議内容

1 開 会 夏苺教育長から開会の宣言をする。

2 前会議録の承認 令和 7 年 1 月定例会の会議録が承認され、中條教育長職務代理者と太田委員が会議録に署名する。

3 教育長の報告

(1) 教育長の報告 資料により夏苺教育長が説明する。
(要旨)

2 月 10 日に開催された県市町村教育委員会教育長会議では、最初に花田教育長の挨拶があり、冒頭、県公立高等学校入学者選抜に関するインターネット出願システムについて、昨年度はシステムの不具合が生じたが、今年度は順調に進んでいることが話された。その後は、教員の働き方改革加速化補助金の予算化、不祥事防止に関する話があった。

議題の中で、令和 7 年度当初予算案の概要にある「教員の働き方改革の加速化」、「高学年で実施している教科担任制を中学年に拡大して実施すること」「6 年生において 35 人以下学級を実施し、全学年で 35 人以下学級になること」の説明があった。また、「誰一人取り残されない学びの保障」に関して、「不登校やひきこもりの子どもの社会的自立を支援するため、フリースクール等と連携して、メタバースによる学びの場所や居場所の提供等を行うこと」の説明などがあった。

教員の働き方改革に関しては、県市町村教育委員会が共通の目標として、時間外在校等の時間が月 45 時間越えの教員の割合、及び、年 360 時間越えの教員の割合を 0 %に縮減すること、働きやすさと働きがいの両立を目指すため「働きやすい職場」と「仕事にやりがいがある」と感じている教員の割合を 80%以上にすることを掲げていると説明があった。

この他に、「不祥事防止の徹底」「県費負担教職員の給与報告等の電子化」「インクルーシブ教育の推進」「不登校対策の強化」「GIGA スクール構想の推進に向けた 1 人 1 台端末の更新」「学校運営・教育指導の充実」に関する説明があった。

1 月 23 日に開催された校長園長会議では、市町教育長会議や足柄上地区教育長会の内容に

ついて報告した。また、園・学校からは子どもや教職員の状況の他、行事の状況が報告された。特に、幼稚園と小学校との交流会は、園児にとってよい教育活動となっていること、2月に予定されている幼稚園のイベントに、お互いの円滑な接続のためにも、小学校の先生に参加してもらいたいという意見があった。さらに、相和小学校と上大井小学校の6年生と一緒に校外学習を実施し、国会議事堂等を見学するとともに交流を図ることができたという報告があった。大井第二幼稚園からはチェックインシステムによる園だよりのデータ配信が保護者からは好評で、次年度以降も継続したい旨の話もあった。

2月10日に開催された町いじめ防止対策調査会では、最初に幼児・児童・生徒指導担当者会議の内容、全国学力・学習状況調査の結果、いじめ防止に向けた各小中学校の取組について報告した。委員の皆様からは全国学力・学習状況調査の結果から中学生の自己肯定感の低さが話題になるとともに、いじめの防止には何よりも未然防止・早期発見と早期対応が重要であり、特に未然防止にいかに取り組んでいくか、そのためにも授業の中で丁寧に見取っていくこと、授業改善が大事であることなど、活発なご意見をいただき、いじめ防止等のための対策の重要性について話し合いがなされた。

(2) 各課・給食センターからの報告

①教育総務課関係事業報告

学校給食センター関係事業報告

資料により矢吹教育総務課長が説明する。

②生涯学習課関係事業報告

資料により有馬生涯学習課長が説明する。

【質問・意見なし】

4 議 事

(1) 協議事項

○令和7年度予算編成について

資料により矢吹教育総務課長、有馬生涯学習課長が説明する。

【質問・意見なし】

○令和7年度「大井の教育（案）」について

資料により山本指導主事、荻野社会教育主事が説明する。

(夏莉教育長)

ただいまの説明に関して、質問・意見がありますか。

(中條教育長職務代理者)

「人権教育の充実」に示されていた自己肯定感を高める指導の充実に関して、総合教育会議の中で教育の仕組みづくりが求められるという表記がありました。また、いじめ防止対策調査会の中でも、自己肯定感が低いことが指摘されました。毎年の全国学力・学習状況調査の結果からも同じような指摘があることを考えると、「自己有用感を高める指導の充実」は人権教育の中に位置づけるのではなく、全教育活動の中で高めていくべき

だと思います。「幼稚園・保育園・小学校・中学校の一貫した教育の充実」の中に位置づけた方がよいかと感じました。

(夏苺教育長)

「人権教育の充実」に関する項目の一つ目は、「全教育活動をとおして」という表記になっています。二つ目には「全教育活動をとおして」という表記はありませんが、もう少しクローズアップしてもよいかと感じました。事務局で検討させていただきます。

【他に質問・意見なし】

(夏苺教育長)

この件についてはまだ時間があるので、個別にご意見をいただければありがたいです。

5 その他

○今後の行事等予定について

資料により矢吹教育総務課長が説明する。

(夏苺教育長)

次々回の定例会は令和7年4月25日(金) 9:30 開会とします。

また、次回の定例会は令和7年3月27日(木) 9:30 開会予定としています。よろしくお願いします。

6 閉 会 夏苺教育長から閉会の宣言をする。